

事例7-4

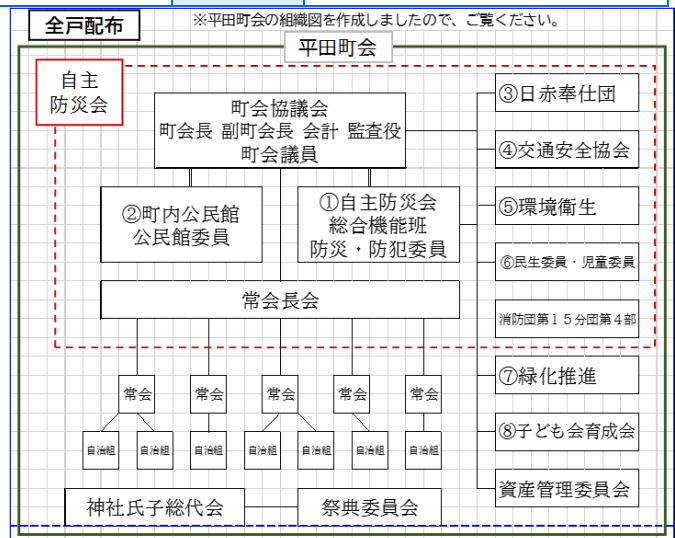
取組名	町会の防災・防犯活動の構築と推進組織づくり		
町会名	芳川平田町会（芳川地区）	町会 データ	・人口／2,438人 ・世帯数／1,234世帯 ・高齢化率／23.46% ・町会加入数／840 ・常会数／11 ・隣組数／55
取組概要	町会における年4回の「防災・防犯活動」の企画運営に向けて活動構築している。 推進組織としての「防災協議会」は、様々な立場の役員が関わる構成になっている。		

背景・課題

- ・ 平田町会は、善行寺街道沿いにできた3つの集落が基。国道などが整備される中で、立地の良さから事業所や工場が進出し、それと同時に周辺の宅地化もすすんだ。
- ・ 新規も含め戸建ての世帯は、ほぼ町会加入してくれるが、年間で2世帯ぐらいが、役員が回って来るからと言って町会から脱退している。
- ・ マンション1棟が、令和8年度以降町会と常会から抜けることになった。高齢化していて、役員などを担うことができないというのが理由。
- ・ 役員選出は常会長に依頼する。安協や衛生、日赤といった町会選出の役員の活動概要が分からないため、選出に苦労する場合がある。

経過・取組内容

- ・ 町会の会議としては、町会協議会と自主防災会総合機能班があり、それぞれ月1回実施している。
- ・ 町会協議会は、各常会から選出された「町会議員」と町会二役の13人で、総合機能班も各常会から選出された「防災・防犯委員」を中心に15人で構成。総合機能班は防災訓練等の企画を担当。
- ・ 自主防災会は上記の町会協議会と総合機能班のメンバーのほか、防災部長、常会長、日赤、安協、民生委員などから成る。
- ・ 5月は総会と交番所長の講話、8月は給水訓練や放水訓練、9月に町会総合防災訓練、11月は防災に関する講義を聴いている。9月の総合防災訓練は、地震想定での訓練で、一時集合場所に災の話をして解散する。11月の講義は、令



▲ 平田町会の組織図

「自主防災会」の枠が防災協議会のメンバー
 和7年度は下諏訪町在住の災害時のトイレ事情に詳しい方に今年度は講義をお願いした。また、2か月に1回防災倉庫の点検と無線訓練も実施している。

- ・ 避難行動要支援者名簿については、常会選出の「町会議員」に渡し、平時の常会内の見守り活動等に活用している。

成果・今後の展望等

- ・ 年4回の防災・防犯活動の推進と、推進母体の構築により、住民の関心が高まってきている。
- ・ 防災協議会の開催については2か月に1回でもよいのでは？という意見もあるため、防災活動の推進と役員の負担軽減とのバランスで今後検討していく。

【ポイント】 様々な団体が関わり調整を行いながら年4回の防災活動を推進出来ている点